



平成31年3月1日

第81号

—発行—
社会福祉法人
氷川町社会福祉協議会

八代市・氷川町災害ボランティアセンター 合同設置訓練



八代地域管内において大規模災害が発生し、被災した社会福祉協議会独自では救援活動や災害ボランティアセンターの運営が困難な場合に備え、氷川町社会福祉協議会と八代市社会福祉協議会は災害時相互応援協定を締結しています。



この社協だよりは、共同募金の配分を受けて発行しました。

八代市社協・氷川町社協と地域の皆様で 災害ボランティアセンター合同設置訓練を 実施しました

平成31年2月17日(日)氷川町宮原公民館において、「八代市・氷川町災害ボランティアセンター合同設置訓練」を行いました。この災害ボランティアセンターは、住民の生活復興を支援するために設置されますが、今回の訓練ではセンターの役割や運営について理解を深め、地域の力を生かしながらボランティア受入体制の確保を図り、ボランティアによる救援活動が円滑かつ効果的に展開されることを目的として実施しました。今回は、八代市社協、氷川町社協と地域の方々の協力のもと42人の参加で実施しました。訓練を通して、改めて訓練の大切さなどを参加者とともに再確認しました。今後もこのような訓練を継続できるよう、皆さんのお協力のもと行いたいと思います。当日、ご協力いただいたボランティアの皆様、本当にありがとうございました。



名札はガムテープで代用



活動にあたってのお願い



床上、床下浸水300棟を想定



鋤簾(じょれん)、どんな道具?

災害ボランティアセンター設置訓練の流れ



※イラスト（熊本県ボランティアセンター）

平成31年度軽度生活援助事業の申請についてご案内

高齢者の方等を対象に軽易な日常生活上の援助を行います。

☆利用できる方

氷川町に住所があり、主に自宅で生活している方で住民税非課税世帯かつ世帯員全員が次のいずれかに該当する方

- ①概ね65歳以上の高齢者のみの世帯の方
- ②身体障害者手帳1級又は2級をお持ちの方
- ③療育手帳障がいの程度Aをお持ちの方
- ④精神障害者保健福祉手帳1級をお持ちの方

☆利用料金の一部助成を行います。

氷川町シルバー人材センターに作業を依頼した場合に限り、その利用料金の8割を助成いたします。ただし、1世帯当たり年間(年度)の助成限度額は1万円です。

※機械・器具借上料、交通費、処分料、原材料費等は実費となります。



☆助成対象(対象外)となる作業は以下のとおりです

庭・生垣・庭木等の家周りの手入れ
家屋内外の整理・整頓
その他軽易な日常生活上の援助

※その他、詳しい内容についてはお問い合わせ下さい。

農業用地の草刈り・剪定
生業を目的とした作業など

☆申し込み方法(申請受付平成31年4月1日~)

氷川町竜北福祉センター及び宮原福祉センターに備え付けの①「軽度生活援助事業利用申請書」に必要事項を記入し、氷川町税務課発行の②「課税台帳記載事項証明書(世帯)」と併せて提出してください。

なお、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は、③「手帳の写し(コピー)」を併せて提出してください。

年度ごとの更新となりますので、毎年申請が必要です。また、②「課税台帳記載事項証明書」につきましては世帯の証明書(有料)が必要となります。

～利用開始までの流れ～

申請書提出 ⇒ 審査 ⇒ 決定(却下)通知書及び利用確認証書送付 ⇒ 利用開始
※ シルバー人材センターへの作業依頼時に利用確認証書をご提示ください。

お申し込み・お問い合わせ先

氷川町社会福祉協議会 ☎ 0965-52-5075

平成31年度 ボランティア活動保険のご案内

対象となるボランティア活動

◎日本国内における自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動

補償内容

ボランティアがボランティア活動中の急激かつ偶然な外因によるケガをされた場合や、偶然な事故により他人にケガをさせたり、他人の物をこわしたことにより法律上の損害賠償責任を負われた場合に保険金をお支払いします。また、ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償します。

補償期間(保険期間)

平成31年4月1日午前0時から
平成32年3月31日午後12時まで

年間保険料

基本タイプ 350円から
天災タイプ 500円から

※天災タイプでは地震、津波、噴火に起因するケガを補償します。

善意のご紹介

次の方々から社会福祉事業に役立てて下さいと、ご寄付を頂きました。故人のご冥福をお祈りし厚くお礼申し上げます。ご寄付頂いた浄財は、本町の福祉事業に活用させて頂きます。(敬称略・受付順)

氷川町社会福祉協議会／香典返し(平成30年12月26日～平成31年2月22日)

地区名	寄付者	故人	地区名	寄付者	故人
桜ヶ丘	吉田美智代	上林一郎	北鹿野	尾田和紀	尾田嘉徳
新村	藤田武生	藤田時春	北野津	中原正博	中原タミエ
有佐	田村浩	田村節子	吉本	田中壽満子	田中良一
沖塘	野尻靖信	野尻キヨ子	静岡県浜松市	野田桂佑	野田雄二
西野津	永田三郎	永田マツメ	法道寺	村上ミツエ	村上義雄
高野道	那須安信	那須信子	北鹿野	河野健男	河野ヒサヨ
新田	小野永	小野アイ	高塚	遠山ミチ子	遠山秀雄
川上	橋本フサエ	橋本利幸	西網道	小林満雄	小林ヲトモ
西野津	木下二郎	木下勢	熊本市	藤本正弘	藤本敏子
玉名市	澤田秀則	澤田三一	上鹿島	上村千代	上村ハルメ
早尾	津田キヨ子	津田至	宇城市	丸山昭子	村上博康

氷川町社会福祉協議会／一般寄付
(平成30年12月26日～平成31年2月22日)

地区名	寄付者
桜ヶ丘	石井喜代美

お詫びと訂正

平成31年1月1日に発行いたしました『社協だより第80号』善意のご紹介におきまして、誤りがありました。正しくは下記のとおりです。

(誤)

地区名	寄付者	故人
町	稻尾聰子	黒木タマエ

(正)

地区名	寄付者	故人
町	稻生聰子	黒木タマエ

(敬称略)

ご親族の皆様ならびに関係各位にご迷惑をお掛けしましたことをお詫びするとともに、ここに訂正させて頂きます。

自助・共助を学ぶ

平成31年1月20日(日)新村地区、28日(月)有佐地区において、災害時高齢者生活支援講習・炊き出し訓練を実施しました。本訓練は大規模災害時に開設される避難所において高齢者に及ぼす影響を踏まえ、接するときの心づかいや、気を付けたい病気や症状について学びました。また、知つて役立つ技術としてホットタオル(おしぶり)の作り方、タオルケットを使用したガウンの作り方などもあわせて学びました。

その他、非常包装食袋(ハイゼックス)を使用した炊飯を氷川町婦人会の皆様のご協力のもと、参加者全員で体験しました。



第31回NHK厚生文化事業団地域福祉を支援する「わかば基金」のお知らせ

「わかば基金」は地域に根ざした福祉活動を展開しているグループが、活動の輪を広げるための支援をしています。

支援金部門

国内のある一定の地域に福祉活動の拠点を設け、この支援金により活動の輪を広げたいというグループ
◇1グループにつき最高100万円(10グループ程度)

リサイクルパソコン部門

パソコンを利用して、地域で活発な福祉活動に取り組んでおり、台数を増やすことで、より高齢者や障害に役立ち、活動の充実を図れるグループ
◇ノートパソコン総数50台程度(1グループにつき3台まで)

災害復興支援部門

東日本大震災以降に激甚災害指定を受けた災害の被災地域に活動拠点があり、その地域の復旧・復興をすすめているグループ。被災地に必要な新たな福祉事業を展開したいと考えているグループ
◇1グループにつき最高100万円(5グループ程度)

応募締め切り3月29日

申し込み・問い合わせ先

社会福祉法人 NHK厚生文化事業団「わかば基金」

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1 TEL 03-3476-5955

行事予定

3月

- 3日 ひとり暮らし高齢者交流食事会
9日 八代市社協・氷川町社協・八代市青年会議所三者による
災害発生時における被災地支援等に関する協定調印式

将棋大会のお知らせ

- 日 時 3月 9日(土) 午前9時～
4月13日(土) 午前9時～
○会 場 宮原福祉センター



※1月の優勝者は
松崎 順一さん(西上宮)でした。

※2月の優勝者は
松崎 順一さん(西上宮)でした。

新規会員募集中! 参加をお待ちしています。